

日建連の 社会貢献活動

JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

2020年4月

総目次

I. 日建連 社会貢献活動協議会としての活動	1
(1) 文化的建造物の保存協力ボランティア活動	
(2) 寄付活動	
II. 社会貢献活動協議会会員会社の社会貢献活動事例	19
III. 社会貢献活動協議会以外の会員会社の社会貢献活動事例	135

社会貢献活動協議会会員会社の社会貢献活動事例

【あ行】

あ アイサワ工業株式会社	……	20
青木あすなろ建設株式会社	……	22
あおみ建設株式会社	……	24
株式会社浅沼組	……	26
安藤ハザマ(株式会社安藤・間)	……	28
い 伊藤組土建株式会社	……	30
岩田地崎建設株式会社	……	32
お 株式会社大林組	……	34
株式会社大本組	……	36
株式会社奥村組	……	38
オリエンタル白石株式会社	……	40

【か行】

か 鹿島建設株式会社	……	42
鹿島道路株式会社	……	44
株木建設株式会社	……	46
き 北野建設株式会社	……	48
く 株式会社熊谷組	……	50
こ 株式会社鴻池組	……	52
五洋建設株式会社	……	54

【さ行】

さ 佐藤工業株式会社	……	56
三幸建設工業株式会社	……	58
し 清水建設株式会社	……	60
ショーボンド建設株式会社	……	62
せ 西武建設株式会社	……	64
株式会社銭高組	……	66

【た行】

た 大成建設株式会社	……	68
大成ロテック株式会社	……	70
大日本土木株式会社	……	72
大豊建設株式会社	……	74
高松建設株式会社	……	76
株式会社竹中工務店	……	78
株式会社竹中土木	……	80

て 鉄建建設株式会社	……	82
と 東亜建設工業株式会社	……	84
東急建設株式会社	……	86
東洋建設株式会社	……	88
戸田建設株式会社	……	90
飛島建設株式会社	……	92

【な行】

な 株式会社ナカノフドー建設	……	94
に 西松建設株式会社	……	96
株式会社NIPPON	……	98
日本道路株式会社	……	100
日本国土開発株式会社	……	102

【は行】

は 株式会社長谷エコーホレーション	……	104
ひ 株式会社ピーエス三菱	……	106
ふ 株式会社福田組	……	108
株式会社フジタ	……	110
株式会社不動テトラ	……	112
ほ 株式会社本間組	……	114

【ま行】

ま 前田建設工業株式会社	……	116
前田道路株式会社	……	118
松井建設株式会社	……	120
株式会社松村組	……	122
み 三井住友建設株式会社	……	124
みらい建設工業株式会社	……	126
む 村本建設株式会社	……	128

【や行】

よ 寄神建設株式会社	……	130
------------	----	-----

【わ行】

わ 若築建設株式会社	……	132
------------	----	-----

以上 57社

社会貢献活動協議会以外の会員会社の社会貢献活動事例

【あ行】

あ 株式会社浅川組	……	136
株式会社新井組	……	137
荒井建設株式会社	……	138
い 勇建設株式会社	……	139
岩倉建設株式会社	……	140
う 株式会社植木組	……	141
お 大林道路株式会社	……	142

【か行】

か 株式会社ガイアート	……	143
く 株式会社クボタ建設	……	144
こ 広成建設株式会社	……	145

【さ行】

さ 坂田建設株式会社	……	146
三軌建設株式会社	……	147
し シーエヌ建設株式会社	……	148
新谷建設株式会社	……	149
せ 仙建工業株式会社	……	150

【た行】

た 大末建設株式会社	……	151
大鉄工業株式会社	……	152
株式会社田中組	……	153
田辺建設株式会社	……	154

【な行】

な 株式会社中山組	…	155
に 日特建設株式会社	…	156

【は行】

は 萩原建設工業株式会社	……	157
株式会社橋本店	……	158
ひ 株式会社久本組	……	159
菱中建設株式会社	……	160
ふ 株式会社藤木工務店	……	161
不二建設株式会社	……	162
ほ 株式会社北都組	……	163

【ま行】

ま 松尾建設株式会社	……	164
松本建設株式会社	……	165
馬淵建設株式会社	……	166
丸磯建設株式会社	……	167
丸彦渡辺建設株式会社	……	168
株式会社丸山工務所	……	169
み 宮坂建設工業株式会社	……	170
め 名工建設株式会社	……	171

【や行】

や 矢作建設工業株式会社	……	172
ゆ ユニオン建設株式会社	……	173
よ 株式会社横河ブリッジ	……	174

【ら行】

ら ライト工業株式会社	……	175
り りんかい日産建設株式会社	……	176

以上 41社

I. 日建連 社会貢献活動協議会としての活動

社会貢献活動協議会は、建設業界としての各種の社会貢献活動に関して、寄付要請の受付、要請案件の協議、協力の実施を目的としています。

原則として日建連の法人会員であり、本会の趣旨に賛同する会社をもって構成しています。

2020年3月現在 会員57社

アイサワ工業(株)	青木あすなろ建設(株)	あおみ建設(株)
(株)浅沼組	(株)安藤・間	伊藤組土建(株)
岩田地崎建設(株)	(株)大林組	(株)大本組
(株)奥村組	オリエンタル白石(株)	鹿島建設(株)
鹿島道路(株)	株木建設(株)	北野建設(株)
(株)熊谷組	(株)鴻池組	五洋建設(株)
佐藤工業(株)	三幸建設工業(株)	清水建設(株)
ショーボンド建設(株)	西武建設(株)	(株)銭高組
大成建設(株)	大成ロテック(株)	大日本土木(株)
大豊建設(株)	高松建設(株)	(株)竹中工務店
(株)竹中土木	鉄建建設(株)	東亜建設工業(株)
東急建設(株)	東洋建設(株)	戸田建設(株)
飛鳥建設(株)	(株)ナカノフドー建設	西松建設(株)
(株)NIPPON	日本道路(株)	日本国土開発(株)
(株)長谷工コーポレーション	(株)ピーエス三菱	(株)福田組
(株)フジタ	(株)不動テトラ	(株)本間組
前田建設工業(株)	前田道路(株)	松井建設(株)
(株)松村組	三井住友建設(株)	みらい建設工業(株)
村本建設(株)	寄神建設(株)	若築建設(株)

(1) 文化的建造物の保存協力ボランティア活動

1. 「旧モーガン邸」庭園清掃ボランティア活動（通算 12 回目）

竹の剪定・枝木の結束・運搬、サワラ林の下草刈り、等

<旧モーガン邸とは>（神奈川県藤沢市大鋸 1122）

旧モーガン邸は、昭和 6 年に建築家 J. H. モーガンの自邸として建てられました。

モーガン亡き後、何人かの手に渡りましたが、平成 17 年に藤沢市と公益財団法人日本ナショナルトラストが取得、復原改修後に一般公開されることになっていました。ところが、主屋部分が平成 19 年、20 年と二度の火災に遭い、かなりの損傷を受けてしまいました。

現在は、毎月 8 日の一般公開をはじめ、毎月第 3 日曜日に清掃活動、季節ごとのイベントなど、修復再生に向けた活動を行っています。

■2019 年 2 月 2 日(土)

参加人数 47 名（会員 13 社・44 名、事務局 3 名）



(2) 寄付活動

No.	要請先	件名
1	公益社団法人東京青年会議所	第35回わんぱく相撲全国大会募金 第1回わんぱく相撲女子全国大会募金
2	第5回がん撲滅サミット事務局	第5回がん撲滅サミット開催費募金
3	一般財団法人経済広報センター	通常会費
4	一般財団法人スポーツ振興資金財団	事業費募金
5	一般財団法人スポーツ振興資金財団	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会経済界募金
6	公益財団法人日本シルバーボランティアズ	事業費募金
7	防衛懇話会	事業費募金
8	公益財団法人日本交響楽振興財団	事業費募金
9	日本赤十字社	事業費募金
10	日本聾話学校後援会	支援金募金
11	日本聾話学校後援会	創立100周年記念募金（校舎改修工事）
12	社会福祉法人いのちの電話	事業費募金
13	公益財団法人海外日系人協会	事業費募金
14	公益財団法人中曽根康弘世界平和研究所	事業費募金
15	公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団	第15回日中韓文化交流フォーラム開催費募金
16	公益財団法人警察協会	救済援護等事業資金募金
17	公益財団法人がんの子どもを守る会	事業費募金
18	一般社団法人建設広報協会	国土交通行政推進事業協賛金
19	職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会	富士教育訓練センター賛助会費
20	公益財団法人全国教諭師連盟	事業費募金
21	上智大学アジア人材養成研究センター	アンコール・ワット遺跡西参道修復工事募金
	合計 21件	

No. 1 公益社団法人東京青年会議所

わんぱく相撲全国大会費募金（1987年度～毎年）

わんぱく相撲女子全国大会費募金（2019年度）

わんぱく相撲は、単なるスポーツとしての競技ではなく、試合に挑むことで自分を信じる力を育み、相撲が持つ礼節により相手を思いやる気持ちを学び、大会を支えてくれる人への感謝を大切にするという、勝敗を超えたものを子供達に伝えることを目的としている。

全国各地の青年会議所の協力のもとに、地区大会を開催し、8月末に全国大会を行う。

2019年は新たに女子にも活躍の場を拓き、第1回わんぱく相撲女子全国大会を開催した。

①第35回わんぱく相撲全国大会

②第1回わんぱく相撲女子全国大会

1. 地区大会 2019年4～6月 約200大会 約4万人参加

2. ブロック大会 2019年6月 36地域で開催 約1万人参加

3. 全国大会 ①2019年8月4日 於：墨田区総合体育館

出場選手 300名（110チーム）

②2019年8月24日 於：葛飾区奥戸総合スポーツセンター

写真提供／東京青年会議所



第35回わんぱく相撲全国大会



第1回わんぱく相撲女子全国大会

No.2 第5回がん撲滅サミット事務局

第5回がん撲滅サミット開催費募金

がんは、わが国において1981年より死因の第1位となり、国民の二人に一人が罹る国民病とも言われている。近年は医学研究や医療技術の進歩、新薬開発等により必ずしも死に至る病ではなくなりつつあり、完治を目指して治療を続けながら通常生活を営む方々も少なくない。

第5回目今回は、がん撲滅であり、がん患者が増加の一途を辿るがん医療社会に対し、新たな希望となる治療や、がんサバイバーの支援、がんになっても生き生きと活躍できる社会の構築を提言し、宣言していくことを目的に開催した。

■第5回がん撲滅サミット

テーマ「がん医療にイノベーションを起こせ！立ち止まるな日本！！」

1. 会期 2019年11月17日
2. 会場 東京ビッグサイト 国際会議場
3. 参加 1,000名

写真提供／がん撲滅サミット事務局



第5回がん撲滅サミット



No.6 公益財団法人日本シルバーボランティアズ

事業費募金（1980年度～毎年）

定年到達者の知識、経験を活用し、開発途上地域に対して奉仕隊による技術協力をを行い、相互理解と友好親善に寄与することを目的としている。

【主な事業】

1. ボランティアの登録事業
2. ボランティア派遣（2019年度：67名）
3. シニア海外ボランティア派遣事業の受託
4. 内外事情の調査研究および広報
5. 海外技術協力に係る内外諸機関との協力

写真提供／日本シルバーボランティアズ



タイ チャンカムウィッタヤコム・スクール
（日本語指導）



中国陝西省紫陽県
（セレン茶栽培の営農指導）

No.7 防衛懇話会

事業費募金（1968年度～毎年）

防衛懇話会は、1965年9月30日経済5団体（経済団体連合会、経済同友会、日本経営者団体連盟、日本・東京商工会議所、日本工業倶楽部）を発起人として設立された団体であり、国防思想の普及を図るとともに、国民と自衛隊の相互理解を深め自衛隊の健全な発展に寄与し、もってわが国の平和と繁栄に貢献することを目的としている。

【主な事業】

1. 防衛問題に関する講演会、懇談会等の開催
2. 部隊見学会の実施（陸海空自衛隊各部隊等）
3. 自衛隊退職者の就職援護協力
4. 遠隔地部隊の慰問激励
5. 国際貢献等派遣隊員激励
6. 防衛省に対する協力事業

写真提供／防衛懇話会



海賊対処でソマリア沖・アデン湾に派遣されている海上自衛隊の護衛艦「さざなみ」(手前)＝2019年9月(防衛省提供)



2019年自衛隊殉職隊員追悼式で献花する安倍総理

No. 8 公益財団法人日本交響楽振興財団

事業費募金（1973年度～毎年）

日本交響楽振興財団は「音楽芸術をひろく人々に」をモットーに、交響楽の魅力を伝える活動を展開している。2019年度は、わが国の主要交響楽団によるコンサートを各地で開催したほか、アマチュアオーケストラの演奏活動の支援や「特別支援学校オーケストラコンサート」を実施した。

■「巡回公演」を全国12カ所で開催

オーケストラが演奏する音楽を聴きたいという要望に応え、各地で日本を代表する交響楽団の演奏会を開催している。本年度は岐阜県高山市や和歌山県有田市、東京都武蔵野市、福島県会津若松市など12カ所でコンサートを実施した。ピアノでは小山実稚恵（新日本フィル、長野県岡谷市）や辻井伸行（高山市、オーケストラ・アンサンブル金沢）、岡田将（新日本フィル、静岡県伊豆の国市）、長富彩（大阪交響楽団、有田市）が、ヴァイオリンでは南紫音（東京フィル、会津若松市）や正戸里佳（新日本フィル、愛知県豊橋市）、金川真弓（山形交響楽団、山形市）、ギターでは村治佳織（関西フィル、京都府舞鶴市）が出演し、巧みな演奏で聴衆を魅了した。

また、岩手県大船渡市でベートーヴェンの第九演奏会を開催し、東日本大震災からの復興に取り組んでいる「けせん」のみなさんに声援を送った。

■「アマチュアオーケストラの演奏会」を全国5カ所で実施

音楽や演奏を心から楽しむアマチュアオーケストラが各地に存する。彼らは地域の芸術文化創造活動の一翼も担っている。本年度は山形フィルハーモニー交響楽団（山形市）、プランタン管弦楽団（名古屋市）、山梨交響楽団（甲府市）、アンサンブル・フォルツァ（大阪府八尾市）、西東京ジュニア・ユースオーケストラ（西東京市）と演奏会を開催し、各地の音楽芸術振興活動を支援した。

■七尾と善通寺で特別支援学校オーケストラコンサートを開催

5月に石川県の七尾市民ホールで、オーケストラ・アンサンブル金沢が七尾や輪島の特別支援学校児童・生徒や学校関係者を対象に演奏会を開催した。

6月には、瀬戸フィルハーモニー交響楽団の弦楽八重奏団が香川県の善通寺養護学校と「四国こどもとおとなの支援センター」を訪問し、コンサートを開催した。支援センターでは、院内約400台のテレビに演奏の模様を中継し、会場に足を運べなかった患者さんにも演奏会を楽しんでもらった。

写真提供／日本交響楽振興財団



巡回公演



善通寺での特別支援学校
オーケストラコンサート

No.9 日本赤十字社

事業費募金（2007年度～毎年）

日本赤十字社は創立以来、世界186カ国の国際赤十字の一員として今日まで140年にわたって、赤十字の理想とする人道的任務を達成するため、地震・風水害等の災害救護、救急医療事業、血液事業、海外での災害・紛争犠牲者に対する国際救援活動など、さまざまな事業の推進に努めてきた。

寄付金は災害救護資材、救援物資、救急医療体制の整備などにあてられる。

【2019年度活動計画】

1. 国内災害救護体制の充実強化
2. 東日本大震災復興支援事業の継続
3. 海外での救援活動や開発協力
4. 救急法等の普及、人材育成
5. 青少年赤十字防災教育プログラムの普及
6. 赤十字ボランティア活動の強化

写真提供／日本赤十字社



〈令和元年台風第19号災害〉
救護員による被災者の救助（長野県）
©Atsushi Shibuya/JRCS



〈令和元年台風第19号災害〉
被災者の救護活動（宮城県）©JRCS



〈アフリカ南部モザンビーク サイクロン被害〉
国際救援活動：コレラの感染症対策 ©JRCS



〈救急法の普及〉
イベント会場での心肺蘇生体験セミナー©JRCS

No.10、11 日本聾話学校後援会

- ・ 支援金募金（1975年度～毎年）
- ・ 創立100周年記念募金；校舎改修工事（2019年度）

日本聾話学校は、1920年（大正9年）故・米国駐日大使ライシャワー博士の両親によって創設された我が国唯一の「聴覚主導の人間教育」を行う私立聾学校である。聴覚障がい児に乳幼児期からの早期教育と保護者への支援を行っている。

子どもたちは、ことばの獲得に最も大切な乳幼児期から、最適に調整された補聴器や人工内耳を装用し、残された聴力を最大限に生かして学習します。学校では、聴覚を通し日々の生きたことばのやり取りを積み重ねることにより、単にことばだけでなく子どものより良い全体的な成長発達を促し、社会の中で望ましい人間形成ができるようにサポート。本会はこの教育を支援するための後援会組織。

■学校法人 日本聾話学校

所在地 東京都町田市野津田町1942

生徒数 78人（2020年1月1日現在）

- ・ 乳幼児部 19人
- ・ 幼稚部 19人
- ・ 小学部 25人
- ・ 中学部 15人

写真提供／日本聾話学校後援会



乳幼児部 グループ活動



小学部 授業の様子

No. 1 2 社会福祉法人いのちの電話

事業費募金（1980年度～毎年）

困難や危機にあつて、誰ひとり相談できる人もなく、自殺などのさまざまな精神的危機に追い込まれる人たちが、再び生きる喜びを見出すことを願いつつ、よき隣人として活動。1953年に英国のロンドンで始まった自殺予防のための電話相談に端を発し、1971年に「東京いのちの電話」が設立され、日本で初めての電話相談事業を開始。

現在、約320名のボランティア相談員が、365日無休の電話相談、インターネット相談を行っている。また、ボランティア医師による電話医療相談も受けている。

この活動を担う相談員を毎年一回公募。相談員は1年半の養成研修を経て認定された後も月1回の継続研修を受けながら相談活動を続けている。

【主な事業】

1. 電話相談、インターネット相談、土曜医療相談
(ボランティア相談員の無償奉仕)
2. 活動への理解と支援拡大に向けての広報活動
3. 社会・外部組織との連携、協力

写真提供／いのちの電話



電話相談担当



全体研修会(テーマ:関わりにくい電話について)



全体研修会(テーマ:いのちの電話で寄り添うとはどういうことか)

No.13 公益財団法人海外日系人協会

事業費募金（1977年度～）

本協会は、海外の日系人団体と各種の交流事業を総合的に行い、諸外国の対日理解を深め、各国間の親善および相互の繁栄に寄与することを目的としている。

【公益目的事業】

1. 第60回海外日系人大会開催事業（10月開催 東京）
2. 内外日系社会広報事業（協会だより、WEBサイト）
3. 在日日系人対応事業
4. 日系社会との連携強化事業
5. 継承日本語教育事業
6. ブラジル移住者里帰り訪日使節団支援 等

写真提供／海外日系人協会



第60回海外日系人大会
記念式典にご臨席の皇太子殿下
(現今上陛下)



第60回海外日系人大会
国際シンポジウム

No. 15 公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団

第15回日中韓文化交流フォーラム開催費募金

国際文化事業の一環として開催している日中韓文化交流フォーラムに関する募金。2005年度に第1回目を韓国で開催以降、中国および日本の3カ国持ち回りでの開催となり、2019年度は第15回目を東京で開催。

昨今の厳しい国際情勢下においても、本フォーラムは途切れることなく、3カ国の文化人が一堂に会して文化の発展と交流促進を図るべく協議を重ねている。

■第15回日中韓文化交流フォーラム

- ・期 間 11月13日～16日
- ・場 所 東京ドームホテル、東京藝術大学
- ・テーマ 音楽 ～アジアをつなぐ弦の響き

写真提供／文化財保護・芸術研究助成財団



3カ国代表团



日本画研究室視察



中国演奏



日本演奏

No.17 公益財団法人がんの子どもを守る会

事業費募金（1977年度～毎年）

本協会は、1968年10月に小児がんで子どもを亡くした親たちが中心となり、小児がんが治る病気になってほしい、また小児がんの子どもを持つ親を支援しようという趣旨のもと設立され、子どもの難病である小児がんに関する知識の普及、相談、調査・研究、支援、宿泊施設の運営、その他の事業を行い、社会福祉および国民保健の向上に寄与することを目的としている。

【主な事業】

1. 患児・家族支援の継続と時代のニーズに見合った各種支援事業の継続
2. 小児がん関連諸制度における未解決の課題等についての意見集約と改善に向けての行政に対する積極的な働きかけ
3. 本部と支部および支部間の連携による地域活動の強化
4. 小児がんに関する情報の発信・提供等の広報活動の強化 等

写真提供／がんの子どもを守る会



年次大会



募金活動(四天王寺)



ショッピングモール内での啓発活動(広島)

No. 19 職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会

富士教育訓練センター賛助会費（1997年度～毎年）

富士教育訓練センターは、建設現場で直接「ものづくり」に携わる建設専門工事会社、設備会社、建設関連業団体（建設専門工事業団体）等22団体の賛同により、平成9年4月に静岡県富士宮市の旧建設省（現国土交通省）建設大学校朝霧校跡地に開校した、建設技術者・技能者の教育訓練施設。

富士山西麓の豊かな自然に囲まれた環境にあり、約5万平方メートルの広大な敷地と約1万平方メートルの施設からなる全国最大規模の建設関係教育訓練施設。

開校以来、「ものづくりは人づくり」という信念の下、業界、企業のニーズに応えるオーダー型の教育訓練を中心に実施することで、建設現場で活躍する優れた人材の育成に努めてきた。

写真提供／全国建設産業教育訓練協会



型枠組立実習



左官実習



鉄筋組立実習



土木施工管理実習

No. 20 公益財団法人全国教諭師連盟

事業費募金（1995年度～毎年）

全国教諭師連盟は、教諭師が矯正施設（刑務所、拘置所、少年院、少年鑑別所）において被収容者に対し精神的・倫理的・宗教的な教諭活動を円滑に行えるよう支援することを本旨としている。

教諭は自己の信ずる教義に則り、宗教心を伝え被収容者の徳性を涵養するとともに、心情の安定を図り、被収容者には自己を洞察して健全な思想・意識・態度を身につけさせ、同時に順法の精神を培い、更生の契機を与える。もって、矯正の実を上げ、社会の安定に寄与することを目的とする篤志宗教家の全国的組織である。

現在、107教宗団、1,846名にのぼる教諭師が教諭目的達成のために大きな役割を果たしている。

【主な事業】

1. 宗教教諭に関する調査および研究
2. 教諭活動を充実発展させるための支援および能力開発
3. 関係官庁、教宗団およびその他の関係機関との連絡調整並びに教諭活動に関する提言
4. その他公益目的を達成するために必要な事業

写真提供／全国教諭師連盟



法衣をまとった教諭師（一部宗派）



第54回教諭師中央研修会 研修風景

No.2 1 上智大学アジア人材養成研究センター

アンコール・ワット遺跡西参道修復工事募金（2016年度～）

上智大学は1996年、現地にアジア人材養成研究センターを建設し、アンコール遺跡の保存・修復を行うカンボジア人保存官等の養成、およびカンボジアの歴史・文化・研究・調査し、日本とカンボジアの学術交流研究拠点とした。

1996年にアサプラ機構(アンコール地域遺跡保存整備機構)とともに着工されたアンコール・ワット西参道(第1工区100m)の修復は、「カンボジア人の手によるアンコール・ワットの修復」を掲げ、カンボジア人保存官候補者に、土木・建築・考古の技能研修を実施しながら、石積みの建築技術を検証し、2007年7月に12年かかって完成。困難な社会情勢のさなかにあつて、当時内戦後カンボジア人を元気づける文化復興のシンボルとなる。その第2・第3工区の第2期工事が日本外務省のODA(一般文化無償資金協力:9,400万円)として採択され、遺跡修復に必要な機材が現場に届けられた。

【西参道修復工事概要】

- ・工事現場 西参道(アンコール・ワットの入り口参道)第2、3工区 100m
- ・工事期間 2016年～2024年(予定)
- ・総事業経費 7億円

写真提供/上智大学アジア人材養成研究センター



アンコール・ワット西参道修復工事の現況